2026年

相模女子大学 学芸学部 日本語日本文学科

秋 ニチブンのかわらばん



国文研究会

卒業生による「仕事と学び」の座談会

日本語日本文学科が母体となった研究組織として「相模女子大学国文研究会」があります。年に一回研究会を開いており、学生も参加することができます。2026年度は安藤専任講師による研究発表「戦争の記憶と温泉文学の戦後」に続き、後半では学科OGによる「私の仕事と大学での学び」の座談会を開きました。

横浜市立高校教員のOGは国語の模擬授業を行い、相模原市の図書館司書のOGは図書館の仕事を紹介した後、大学での学びと仕事との関連などを振り返りました。学生や教員からも活発な質問が寄せられ、充実した研究会となりました。（2026年9月26日）









書道

夏季合宿を行いました



書道ゼミ、書道部合同合宿を富士緑の休暇村で実施しました。富士山を見上げながら、1年生から4年生までがともに、第15回比田井天来・小琴顕彰 佐久臨書展の出品作品や卒業制作展の制作を行いました。夜は温泉につかり、遅くまで楽しいお話をし、学年の垣根をこえて懇親を深めました。(2026年8月24～25日)



3年生

図書館実習が終了しました



司書課程では、今年の夏休み期間に図書館実習を行いました。神奈川県内の公共図書館を中心に、約二週間かけて司書としての様々な仕事を経験します。担当司書の指導を受けながら、カウンターでの貸出の他、予約本の準備、選書会議への出席、レファレンス、おはなし会での読み聞かせなど、多岐にわたる業務を行いました。　(2026年7月～9月)

10月31日の相生祭で実習生による紙芝居イベントを行います。ぜひ見に来てください！



日文資料室

（10号館2階）



専門書が充実している他、日文卒業生のスタッフが常駐しており、学生の強い味方となっています。

［企画・編集］日本語日本文学科・広報担当

所在地：〒252-0383　神奈川県相模原市南区文京2-1-1
相模女子大学10号館　日文資料室
mail（お問い合わせ）：nichibun10@mail2.sagami-wu.ac.jp
web：https://sagami-nichibun.jp

Special

学科のまなび紹介 特集

ニチブンで学ぶことのできる10分野を担当する専任教員からのメッセージを紹介します。みなさんの学びたい分野や教員を選ぶ際の参考にしてください。

日本古典文学

全時代・全分野の専門教員を揃えているので、細大漏らさぬ科目群を置いています。大学は先生も好きなことを授業にできるので古文ってオモロイやん！となってくれるよう準備して皆様をお待ちしています!

(担当教員：山田純[上代]・武田早苗[中古]・高木信[中世])

日本近現代文学

近現代文学は個性的で多彩な作家、作品の巨大な集合です。誰もが知る近代作家の代表作を学ぶだけでなく、ときには聞いたこともない現代作家の作品にも触れながら自分の興味や世界をおおきく開いていってほしいと思います。

（担当教員： 南明日香・山口徹）

中国古典文学

中国古典文学の授業では、書き下しや句法の理解だけでなく、漢字一文字一文字が繋がることで、どのような意味になるのかを考えていきます。漢文を学ぶとは、日頃使っている文字を問い直すこと、自分がどのような世界で生きてきたのかを見つめ直す一歩にもなります。授業を通して、一緒に漢字と漢文の新たな一面を探す旅に出てみましょう。

（担当教員：加納留美子）

日本語学

私たちにとって最も身近な言葉である日本語。その日本語に対してゆっくりと向き合い、しっかりと考えるための授業を、日本語教育との連携も意識して取り揃えました。 皆さんの日本語力をさらに輝くものにしてみませんか。

（担当教員：梅林博人・永谷直子）

日本語教育学

日本国内にも、海外にも日本語を学んでいる人は大勢います。彼らにとって日本語はどのような言語でしょうか。大学の周辺地域で日本語を学ぶ学習者と交流しながら、どのような日本語を、どのように教えたらいいか、考えていきます。

（担当教員：永谷直子）

10分野の履修モデル



現代文化

現代文化・コンテンツの研究は「社会学」が主流です。けど、それを見たら皆様が期待するのと「違うなあ」ってなると思います。ニチブンで置いている科目こそ「これ、これだ」ってなると思います。「現代文化入門」から始まりますので、そこで待っています!

（担当教員：安藤史帆・高木信・山田純）

書道

書道の実技と理論を１年生から段階的に学びます。実用書道や校外研修の科目が今回新設されました。国語や書道の教員免許が取得でき、初心者からでも書道の実践能力を身に付けることができます。

（担当教員：下田章平）

図書館情報学

資格取得が目的の司書課程では実務的な学びや実習が中心ですが、日文の専門科目としての図書館情報学では図書館のサービスや施設、専門職員、利用者、運営者、資料など、図書館について様々な観点から学び研究していきます。（担当教員：宮原志津子）

司書課程で学ぶさまざまなことの土台となっている学問分野が図書館情報学です。具体的には、図書館を研究対象とする従来の図書館学と、図書館に限らず広く情報の生成、蓄積、利用を研究する情報学が融合して誕生しました。（担当教員：金井喜一郎）

教職

人に教えるためには、教師自身で、その教材の魅力を十分に知っている必要があります。「教材特講」「国語教員能力養成講座」「国語科教育法」などで、教材の面白さ、正確な知識、教えるための実践力を学びます。（担当教員：下田章平・高木信）

もっと詳しく知りたい方のために、各分野を紹介するパンフレットをご用意しています。日文資料室やオープンキャンパスで配布中です。


